

9.27

告発フォーラムのよびかけ

高学費・高校つぶし・教育格差

- 『授業料が払えずに学校をやめていく生徒がいる』
- 『公立なのに入学時に30万円以上も必要』
- 『入学金が払えない新生入が別室に待機させられた』
- 『給食代が払えずに給食を食べられない定時制の子が増えている』
- 『修学旅行に行けない子、アルバイトで生活を支える子が増えている』



これはほんの一例です。いま日本の高校では、「貧困・格差」を実感させる事態が進行しています。私たちは、「義務教育でないから仕方がない」「自己責任だ」で片づけられない問題だと考えます。



- 『適正規模』をあてはめると高校がなくなる地域ができる(北海道)
- 『統廃合計画が実施されると郡部の高校がなくなってしまう(青森)』
- 『学校から一番遠い子は100キロを超える(秋田)』
- 『都市部なのに全日制進学率が9割を切り全国最低になった(神奈川)』
- 『募集定員をへらし、公立全日制の倍はみ出し率、は希望者の18%にのぼる(大阪)』

このように「再編・統廃合」の名で進行する高校つぶしが全国で広がっています。地域格差も深刻です。子どもたちが高校に行けないという事態に、多くの人びとが疑問をもつのは当然のことではないでしょうか。

「高学費」「高校つぶし」は、子どもたちの中に教育格差を拡大し、高校教育から排除される子どもたちを大量に生み出すおそれがあります。

私たちは、高校教育にかかわるものとして、放置できない事態になっていると考えます。いまこそ憲法26条の理念を実現し、お金の心配なく高校に行けるように、声をあげ力を合わせる時ではないでしょうか。

こうした考えから、この「告発フォーラム」の開催をよびかけました。子どもたちの希望ある未来を願う幅広いみなさんのご参加をお待ちしています。

2008年8月 日本高等学校教職員組合

プログラム PROGRAM

Part1

開会あいさつ
日高教からの問題提起
～全国各地の高校生などの声を映像で紹介します～

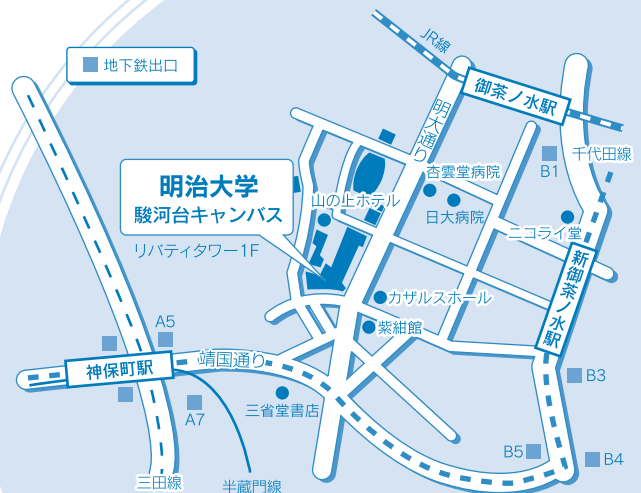
Part2

高学費・高校つぶし・教育格差を現場から告発する
大阪、愛知、東京、埼玉、京都、北海道、青森、神奈川、長野、和歌山などから高校生・父母・住民・教職員のみなさんの発言を予定しています。

Part3

お金がないと学校へ行けないのか？
～高学費・高校つぶし・教育格差の背景と解決の方向を探る～
コメンテーターとして、教育費問題の研究者・三輪定宣氏(千葉大名大学教授)、貧困・格差問題を取材するジャーナリスト・三上直行氏(「週刊東洋経済」副編集長)を予定しています。

ACCESS MAP 会場のご案内



JR[御茶ノ水]下車/地下鉄半蔵門線・三田線「神保町」下車